

最高裁判所

夏休み子ども見学会

を開催しました



最高裁判所では、平成29年7月31日(月)、8月1日(火)、3日(木)、4日(金)、の4日間(1日2回の全8回)、小・中学生と保護者を対象とした「夏休み子ども見学会」を開催しました。各回定員200名を大幅に超える申し込みをいただきましたので、御参加いただける方を抽選にて決めさせていただきました。

ここでは、見学会当日の様様や御参加いただいた方の感想を紹介します。

大法廷

最初に大法廷に集合していただき、最高裁判所の役割や大法廷の特徴などを御説明しました。

その後の自由見学時間では、裁判官と直接お話したり、本物の法服を着て記念撮影や裁判官になったつもりで、ポーズをとったり、裁判所で用意した判決を大きな声で読み上げたりしていただく判決言渡体験を実施しました。



御参加いただいた方の感想

「普段は入ることができない大法廷で、法服を着用するような体験は貴重なものだったと思います。」

「法服を着て判決言渡体験をできたことがとても楽しかったようで、是非また参加したいと言っています。」

小法廷

第一小法廷では、模擬裁判を行いました。シナリオに沿って、刑事裁判（住居侵入罪、窃盗罪）の一連の流れを、裁判官、検察官、弁護人、被告人、証人の役に分かれて、それぞれ見事に演じていただきました。



御参加いただいた方の感想

「模擬裁判を経験したことで、裁判所が身近に感じられた。」

「模擬裁判がおもしろかった。本物の裁判を見学に行ってみたいと思った。」

大ホール

大ホールでは、裁判所がどんなところかを学ぶアニメを上映したり、裁判所で働く職員の職業紹介など裁判所を知っていただきました。また、世界の法服の展示を見たり、オリジナルスタンプを押して楽しんでいただきました。



御参加いただいた方の感想

「外国の法服展示が興味深かったです。」

「DVDや質問で裁判所のことをわかりやすく知ることができて良かったです。」

裁判官質問コーナー

スペシャルイベントとして、最高裁裁判官への質問コーナーがありました。「裁判官という仕事をするうえで、やりがいというのはありますか。」「裁判で心がけていることはありますか。」「いつから法律の勉強を始めたか。」など、たくさんの質問をいただきました。



御参加いただいた方の感想

「最高裁判事のお話がとてもわかりやすく、子どもにも理解しやすい内容、言葉でお聞きできて良かったです。」

「実際の法廷に触れ、裁判官のお話を伺い、司法の場を身近に感じられました。」



たくさんの方の御参加ありがとうございました。今後も次世代を担う子どもたちに、司法や裁判所に関心を持っていただくきっかけとなるような広報を企画したいと思います。

